「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費〔認知症高齢者等居場所お知らせサービス事業〕										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	4	
事業の種別		☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		地域包括ケア推進（高齢介護）課				高齢者支援		係	課長名			石嶋 洋平
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市の区域内に居住し、住民基本台帳に記録されている者で、次に掲げる要件を備えている者を同居して介護している者：①65歳以上の認知症高齢者又は40歳以上65歳未満の初老期における認知症と診断された者②徘徊行動のある者*但し、市長が特に必要と認められた者も対象者とすることができる。					申請者数(制度を必要とする者)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	居場所お知らせサービス事業を実施することにより、徘徊行動のある高齢者等の身体の安全の確保及び当該高齢者等を介護している家族等の介護の負担の軽減を図り、もって高齢者等及び介護者の福祉の推進に寄与する。					利用者数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	市民から利用希望があった場合、担当区域の高齢者ほっと支援センターの相談員が自宅訪問により、状況確認する。同センターからの申請代行を受けて、市が内容確認し、承諾の可否を決定する。決定後、介護者に対し、探索専用端末機器を貸与し、右記のようなサービスを受けられるようにした。					サービス内容 ①インターネット検索 〇回 ②電話検索 〇回 ③緊急対応員 〇回						
	対象指標		①の数値	人	不明	0	0	成果目標				
	成果指標		②の数値	人	6	4	2					
目 標		②の目標値	人	6	6	4	2	2				
		目標値設定の考え方 高齢者世帯への日常(在宅)生活の支援を図るため、前年度実績を目標に設定した。										
活動指標		③の数値	回	① 4 ② 3 ③ 0	① 0 ② 4 ③ 0	① 0 ② 0 ③ 0						
3 経費	事業費(実績)		円	55,670	27,280	24,750	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	24,420	2,480	2,250						
		特定財源(国・都・他)	円	31,250	24,800	22,500						
		(うち受益者負担)	円	31,250	24,800	22,500						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05						
		所要人数(再任用)	人									
職員人件費(再任用以外)		円	415,500	419,000	412,500							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	471,170	446,280	437,250							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成13年度									
	(2) 環境の変化		平成13年9月1日から施行。介護者の負担軽減を図り、もって高齢者等及び介護者の福祉の増進に寄与することを目的としている。高齢化に伴い、認知症高齢者も増えており、徘徊行動のある高齢者も増加傾向にある。毎年、市内でも行方不明高齢者が発生し、発見・保護されるケースがあり、件数は微増である。									

事業名称	高齢者日常生活支援事業費〔認知症高齢者等居場所お知らせサービス事業〕			
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課	高齢者支援	係	課長名 石嶋 洋平

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし			
	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
6 市民協働	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	費用負担が増えないような現機器に代わる利用しやすい機器の情報収集に努める。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 令和4年度以降新たに貸与する方に対して新しい機器を導入するようにした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 周知を図る			
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 高齢者保健福祉の推進				
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 今後も引き続き、情報の収集に努める。			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 他市の状況を確認する。				